

No.	見出し	修正内容	【資料5-5】内の該当箇所	関連意見
1	第1章 大柱1	「目指す姿」に文言を追加	地震、豪雨・噴火・原発事故などの災害時に被害軽減を図るために、迅速な対応が可能な防災体制を構築し、災害に強いまちを目指します。また、地域における防災意識・危機対応の意識を醸成し、市民とともに地域防災力の向上に積極的に取り組むまちを目指します。	【資料5-2】 意見番号9
2	第1章 大柱2	「目指す姿」の文末を修正	犯罪発生の抑止力としての地域の防犯意識が高まり、地域コミュニティによる見守り活動が推進され、犯罪などが起こりにくいまちを目指します。 消費者に必要な情報、消費者教育の機会が提供されるとともに、消費者被害の未然防止、被害回復のため消費生活相談を受けることができ、安心して消費生活を送れるまちを目指します。 市民の葬祭が滞りなく行えるまちを目指します。行うことができるまちとします。	【資料5-3】 意見番号3
3	第2章 大柱1	「目指す姿」内の表記を修正	地域住民が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、支え合い、一人ひとり一人の暮らしと生きがい、地域をともに創っていくことができる「地域共生社会」を実現するまちを目指します。	【資料5-2】 意見番号20
4	第2章 大柱2 中柱4	「現状と課題」を見直し、課題を追記	●家族構成や生活形態の変化などから、青少年の社会性や自立がますます困難になっており、地域では「子ども会」離れなど、青少年の健全な育成を推進していく基盤となる、青少年と地域とのつながりの希薄化が懸念されています。青少年の地域社会への帰属意識の醸成や社会参加意識を高めていくことが課題になっています。ような機会を充実する必要があります。また、引きこもり等の青少年や若者にふりかかっている問題についても、家庭・学校・地域等と連携し支援してまいります。	【資料5-2】 意見番号34
5	第2章 大柱3 中柱1	「現状と課題」を見直し	●団塊の世代がすべて75歳以上となる令和7年（2025年）に向けて、高齢化は比較的緩やかに進行するものの、要介護状態となるリスクの高い75歳以上の人口は急速に年々増加するものと見込まれており、介護が必要となる方、認知症の方が増加するとともに、一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の増加も考えられます。	【資料5-2】 意見番号38
6	第2章 大柱3 中柱2	「現状と課題」に現状を追記	●高齢者が自立した生活を営むためには、高齢者一人一人が健康づくり、介護予防に取り組みながら、生きがいを持って日常生活を過ごすことが重要です。また、要支援・要介護認定者数も年々増加傾向にあることなどを踏まえ、介護保険制度の円滑な運用を行うとともに、介護サービス及び高齢者福祉サービス及び介護予防事業を適切に利用できるようにする必要があります。	【資料5-3】 意見番号6
7	第2章 大柱3 中柱3	「現状と課題」に現状を追記	●一人暮らしなどの高齢者のみ世帯の増加、認知症の高齢者の増加が見込まれる中、地域が一体となって、高齢者を支え合い、すべての高齢者が地域とつながっていくことが大切になっていくものと思われま。今後、地域で安全・安心な生活を送ることができるように、見守り体制や暮らしやすい住まいづくりなど、環境を整備する必要があります。	【資料5-3】 意見番号6
8	第2章 大柱4 中柱2	「現状と課題」内の表記を修正	●障害に関わる相談は、児童から大人まで幅広く、それぞれが抱える悩みや戸惑いは課題が多様化しており、ライフステージの節目においても異なるため、相談支援体制の整備及び充実を図るとともに、障害が生じたときの本人や家族の不安などの解消に向けて、総合的な相談体制の確立を図っていく必要があります。	【資料5-3】 意見番号7
9	第2章 大柱4 中柱2	「主な取組」を見直し	相談支援体制の整備 障害福祉サービスの充実 コミュニケーション（意思疎通）支援の充実	【資料5-2】 意見番号47 意見番号48
10	第2章 大柱4 中柱3	「現状と課題」を見直し	●障害のある人の経済面での自立の促進に資するため、「国等による障害者就労施設等からの物品等の調達に関する法律」では、国や地方自治体などの公共機関は、物品やサービスを調達する際、障害者就労施設等から、優先的・積極的に購入することとなっています。これにより、障害のある人の収入の増加に結びつけていく必要があります。	【資料5-3】 意見番号8
11	第2章 大柱5 中柱1	「現状と課題」内の表記を修正	●生活習慣や社会環境が大きく変化し、私たちの心や体身体にも様々な要因が及ぼす影響により、健康への不安も増加してきています。このような背景があるなか、健康長寿社会を目指した動きが進んできています。そのため、市民の健康への意識向上を図り、市民一人ひとりが、主体的に健康づくりに取り組める活動の輪が広がることへの支援が求められています。	【資料5-3】 意見番号9
12	第2章 大柱5 中柱2	「現状と課題」内の表記を修正	●母子保健をはじめとする様々なライフステージにおいて、健康の保持増進のための健診や相談などの支援体制、感染症予防事業、健康危機管理体制を展開しています。そして今後においても、市民がより健康な生活を送れるよう、一人ひとりのライフステージにおけるニーズを把握し、保健サービス体制を進めていく必要があります。	【資料5-3】 意見番号10

No.	見出し	修正内容	【資料5-5】内の該当箇所	関連意見
13	第2章 大柱6 中柱1	「現状と課題」内の 表記を修正	●後期高齢者医療は、高齢化の進展による被保険者数の増加に伴い、医療費が増加の傾向 となっているに <b>あります</b> 。このため、埼玉県後期高齢者医療広域連合が安定した制度を実施でき るよう、医療費の適正化に関する周知等の支援が課題となっております。	【資料5-2】 意見番号58 【資料5-3】 意見番号11
14	第4章 大柱1 中柱2	「現状と課題」を見直し	●環境に負荷を与えない社会 <b>地球温暖化の原因となる温室効果ガスの増加は、気候変動を引 き起こし、生態系にも大きな影響を与えています</b> 。持続可能な社会を構築するためには、市民・ 事業者・行政が共通認識の下、相互に連携を深め、環境に負荷を与えない <b>配慮した</b> 活動を推 進するとともに、地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出抑制に取り組むことが必要となりま す。	【資料5-2】 意見番号88 【資料5-3】 意見番号13
15	第5章 大柱3 中柱2	「現状と課題」内の 表記を修正	●本来、多様な機能を有する都市公園のポテンシャル <b>潜在的な能力</b> を生かし、それぞれの地域 の特性に応じた柔軟な活用を進める必要があります。また、遊具など公園施設が老朽化しており、 公園を安全で快適な環境に保つために計画的かつ適切な維持管理を市民や事業者など多 様な主体と協働で行う必要があります。	【資料5-3】 意見番号16
16	第5章 大柱3 中柱4	「現状と課題」に現状を 追記	●健全な水環境の維持や再構築のため道路の透水性舗装や公共施設・宅地等への浸透施設 の設置、地下水の涵養を図るための施設の普及などの推進に取り組む必要があります。 ● <b>日常生活や事業活動による環境負荷の増大が地球の環境にさまざまな影響を及ぼしていま す。環境への負荷の少ない持続可能な社会を構築するうえで地球温暖化防止や循環型社会の 構築は早急に取り組むべき課題となっております</b> 。	【資料5-3】 意見番号17
17	第5章 大柱6 中柱2	「現状と課題」内の 表記を修正	●道路、公園や多くの人が利用する建築物などのユニバーサルデザイン化を図り、高齢者や障害 のある人など全ての利用者に配慮された施設利用の円滑化が必要です。駅から離れた地域ほど 高齢化率が高く、更なる高齢化が進行する推計であるため、バリアフリー化や移動支援の <b>取組み 取組</b> を充実して、お年寄りや障害のある人など誰もが「外出しやすいまちづくり」への <b>取組み取 組</b> が必要です。	【資料5-2】 意見番号150
18	第5章 大柱7 中柱1	「現状と課題」内の 表記を修正	●「地域コミュニティの核」である商店街の賑わいを維持するため、店舗経営の安定化や店主の高 齢化や後継者不足に対応した相談体制の構築などの取組の推進のほかに、空き店舗等の有 効な活用や魅力ある店舗の創業支援などに <b>取組も取組み</b> 必要があります。	【資料5-2】 意見番号154
19	第5章 大柱7 中柱2	「現状と課題」内の 表記を修正	●市内事業者の大多数を占める小規模事業者・中小企業において、経営状況の悪化が懸念 されます。また、事業者、従業員の高齢化も進んでおり、事業承継や人材不足の解消など総合 的な操業継続の支援に <b>取組も取組み</b> 必要があります。	【資料5-2】 意見番号156
20	第5章 大柱7 中柱4	「現状と課題」内の 表記を修正	●農業従事者の高齢化、後継者不足、農地の減少に加え、農産物の価格の低下や肥料・資 材の価格高騰など農業を取り巻く環境は依然として厳しいことから、農業経営の安定・生産性の 向上・地産地消の拡大など農業振興のための総合的な <b>取組み取組</b> を進めることが必要です。	【資料5-2】 意見番号159
21	第5章 大柱8 中柱2	「現状と課題」内の 表記を修正	●起業に関する相談・セミナーのより一層利用しやすい環境づくりや起業後における継続的な支 援について <b>取組んで取組んで</b> いく必要があります。	【資料5-2】 意見番号160
22	第5章 大柱9 中柱1	「現状と課題」内の 表記を修正	●暮らしやすく働きやすいまちの実現に向けて、市内企業の多様な働き方やワーク・ライフ・バラ ンスの推進に関する <b>取組み取組</b> を支援していく必要があります。 ●雇用形態が多様化する中において、相談体制の整備などによる勤労者支援を充実していく <b>取 組み取組</b> が必要です。	【資料5-2】 意見番号163
23	第6章 大柱1、2	大柱1、2の順序を 入れ替え	2 1 人権の尊重 1 2 男女平等	【資料5-2】 意見番号164
24	第6章 大柱2	「目指す姿」に文言を追 加	男性と女性が互いに人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、 <b>誰もが</b> あらゆる分 野で活躍できるまちを目指します。	【資料5-2】 意見番号165
25	第6章 大柱2 中柱1	中柱1の名称を修正	男女平等の意識づくりと <b>多様な性の理解促進</b>	【資料5-2】 意見番号165

No.	見出し	修正内容	【資料5-5】内の該当箇所	関連意見
26	第6章 大柱2 中柱1	「現状と課題」を見直し、課題を追記	<p>●急速な社会環境の変化とともに、男女ともに多様なライフコース（個人が一生の間にたどる道筋）が志向されるようになってきています。しかしながら、家庭や地域・職場などの市民生活に密着した場では、依然として性別による固定的な役割分業意識やそれに基づく社会慣行が根強く残っており、自己の持てる力を発揮しにくいと感じている人や不平等を感じている人などがいます。<b>根強く残っており、日々の生活の中で、無理解や偏見による不平等や生きづらさを抱えている人がいます。</b>このようなことから、引き続き、男女平等の意識づくりに向けた取組が求められています。</p> <p>また、「性の多様性」についての正しい理解を深めていくための取組が求められています。<b>誰もが持ち合わせている性の指向や自認に関しての無理解や偏見による差別をなくしていくため、「性の多様性」の正しい理解に向けた取組が求められています。</b></p>	【資料5-2】 意見番号165 【資料5-3】 意見番号20
27	第6章 大柱3 中柱1	「現状と課題」を見直し	<p>●現在も多くの外国人市民が本市に在住しています。<b>多くの外国人市民が本市に在住しており、今後、さらに増加することが想定されます。</b>外国人市民が、地域で孤立したり、生活習慣などの相互理解不足からトラブルに発展することがないよう、地域社会と外国人市民をつなぎ、地域での話し合いを基にお互いの文化を理解しながら、生活上の問題などを相談・解決することができるよう、関係団体や関係機関等と連携を図りつつ、サポートする必要があります。</p>	【資料5-3】 意見番号21
28	第6章 大柱4 中柱1	「現状と課題」を見直し	<p>●審議会の委員のほか、意見交換会、パブリック・コメントなどの実施を通じにより、市の様々な施策の計画段階から実施、評価に至るまで、市民参画の機会を設けています。引き続き、自治基本条例に係る市民の意見を踏まえながら、<b>若い世代や子育て世代を含めなど、市民にとって市政が身近に感じられるよう、幅広く市民が市政に参画しやすい仕組みづくりや自治基本条例の制定等を検討していくことが課題です。</b>また、地域課題を効果的に解決していくためには、地域のことをよく知る市民や関係団体等との協働が求められます。</p>	【資料5-2】 意見番号180
29	第6章 大柱5 中柱6	「現状と課題」を見直し	<p>●市広報、ホームページ、SNSなどを活用し、地域で輝いている人や場所などを本市の魅力として発信しています。今後、シティ・プロモーションの方針を策定し、当該方針に沿って、<b>市民、関係機関、市内外事業者等と協力、連携しながら</b>プロモーションを展開していく必要があります。</p>	【資料5-3】 意見番号22